

貴乃花親方 当選

理事選 予想覆し10票

相撲協会 落選は大島親方

日本相撲協会は一日、東京・両国国技館で任期満了に伴う理事選挙を行い、初めて立候補した貴乃花親方(三七)＝元横綱、本名・花田光司＝は大方の予想を覆し、十票を獲得して当選を果たした。落選は八票だった大島親方(元大関旭国)。

定員十人(外部理事を除く)に対して十一人が立候補。百十一人の評議員(親方一〇七、力士二、立行司二)が投票した。貴乃花親方は理事候補擁立をめぐる意見が食い違い、自ら二所ノ関一門を離脱。支持を表明していたのは同一門を事実上、破



理事選の投票に向かう貴乃花親方＝1日午後1時23分、東京・両国国技館で

門となった六人だけだったため、苦戦を伝えられていたが土壇場で巻き返した。

これまでは五つの一門が事前調整をし、無投票で理事が決まっていたが、四期八年ぶりの選挙に持ち込まれていた。